



# La Petite Empreinte

## ラ・プティト・アンプラント



ラ・プティト・アンプラント=小さな一歩といった意味でしょうか。ローヌ=アルプ地域圏、ドローム県出身のメリッサと、90年代から独創的なシャブリを造るアリス・エ・オリヴィエ・ド・ムール夫妻の息子、ロマンのカップルのワイナリーです。二人が知り合ったのはジュラのとあるワイナリーでお互いに働いていた時のこと。それまでは各々自分の興味のあるスタイルのワイナリーで経験を積んでいました。メリッサは、地元からも近いアルデッシュの造り手たち、ロマンはボジョレーのラピエール、そしてジュラのラベヤガヌヴァのもとで経験を積んできました。

2020年に、ブルゴーニュ北部のサン・ブリのエリアに1haに満たない畑を購入し、メリッサとロマンの二人は自身のワイン造りを始めます。購入した畑は、ピオロジック栽培に転換したばかり、セラーもアリス・エ・オリヴィエ・ド・ムールのセラーを一部間借りして醸造していますが、もちろん彼らのワイン造りにド・ムール夫妻が口を挟むことはありません。

○Saint Bris - Persévérance サン・ブリ ペルセヴェランス						
	畑	品種：ソーヴィニオン・ブラン 樹齢：1960年代 土壌：泥灰土（マルヌ・ブランシュ）	醸造	樽醗酵、一部マセレーション 木製樽で10カ月間熟成	備考	Perseverance=忍耐、というキュヴェ名にどのような思いが込められているのか。初年度の2020VTは果汁の1/4だけ1週間ほどマセレーションを試した。亜硫酸無添加、マロラクティック醗酵をしている。近年の気候もあいまった、リッチなスタイル。
●Bourgogne Cotes d'Auxerre - Tapis Rouge ブルゴーニュ コート・ドセール タピ・ルージュ						
	畑	品種：ピノ・ノワール 樹齢：1970年代 土壌：粘土石灰	醸造	20日間の全房マセレーション 木製樽で8カ月間熟成	備考	全房醗酵らしい少し淡い色合い。果実味の前面に出た軽快な味筋。